

物価高騰で苦しむ 全ての市民・事業者のために 早急に直接支援を

2025年12月25日に神戸市臨時議会がひらかれ、森本真議員が緊急補正予算に関する議案質疑をおこないました。

質疑項目

1. 物価高騰で苦しむ市民・事業者に速やかに支援するための補正予算の考え方について

今臨時議会で可決された子育て応援手当と小学校給食の無償化の実現は、市民の皆さんとともに取り組んできた運動の成果です。一方で今回国は、長期にわたる物価高騰対策として約110億円の「重点支援地方交付金」の内示をおこない、速やかな実施を依頼していますが、一人あたり約3000円と市民の皆さんの願い

とはほど遠いものです。さらに神戸市は、その110億円のうち23億円（中学校給食半額、児童福祉・介護・障がい者施設への光熱費・食材費支援）しか補正予算に計上していません。森本議員は、市民や事業者の皆さんの苦しい生活が続く中、残りの予算を速やかに活用し、市民生活を支えるべきと質しました。

森本真議員が 議案質疑



をおこなっている。神戸市もすべきではないか。

今西副市長：強制的にシャットダウンするコロナの時と現在の経済状況とは違う。

森本議員：これまでの「重点支援地方交付金」の使い方を見ると、神戸市は国の交付金の枠内でしか施策をおこなっていない。副市長は以前、設備投資などの支援メニューは大企業向きで中小企業向けではないと言った。長田区では、長田の台所として親しまれた「長田中央市場」や、みんなの冷蔵庫と呼ばれていた「うまいもんいちPOT」が（昨年）閉店した。戦前戦後、

30年前の阪神・淡路大震災や、コロナ禍を乗り越えてきた歴史ある市場や商店街が、長田からどんどん消えている。中小業者の苦難がわかるか。

今西副市長：事業者が困難に直面していることは存じている。事業者の課題は一律ではないから、それぞれの課題に寄り添った支援策を展開していきたい。

森本議員：多くの市民の皆さんが困っている。商売をしている皆さんも物価高騰の中で本当に苦しまれている。これまでも我が会派が訴えてきた賃上げ支援、中小企業への直接支援を強く願う。

答弁ダイジェスト

森本議員：他都市では子育て応援手当を増額したり、くらし応援給付金として全市民や非課税世帯、65歳以上高齢者に給付を決めている自治体もある。神戸市は何もしないのか。

今西副市長：年内に計上をしない政令市は3割だ。今回可能なものはできる限り計上した。

森本議員：小学校の給食無償化は1月から無償にする自治体も多い。小学校だけでなく中学校も（1月から）無償にすべきではないか。

今西副市長：残りの交付金の使途は、現在の市民や経済状況等々を勘案して検討している。案がまとまれば補正予

算として議会に提案したい。

森本議員：昨年度は交通事業者への支援が入っていたが、なぜおこなわないのか。

小松副市長：国・県の支援では賄えない部分の一時支援金の給付を検討している。

森本議員：規模は大小あるが水道料金の減免が多くの自治体でおこなわれている。神戸市は考えているのか。

今西副市長：費用対効果として小さいので、水道料金の減免は考えていない。

森本議員：コロナの時は国が施策を決める前に市独自の中小業者支援をしてきたが、今回は全くない。ある自治体は、病院・介護・障がい者等々の水光熱費補助とともに中小事業者の水光熱費の補助

2月17日より2月議会が開会します

| | |
|------------------|-------------------|
| 2月17日(火) | 本会議（議案質疑） |
| 18日(水)・19日(木) | 常任委員会 |
| 24日(火)・25日(水) | 本会議（代表質疑） |
| 2月26日(木)～3月9日(月) | 予算特別委員会局別審査 |
| 3月12日(木) | 予算特別委員会 総括質疑 |
| 16日(月) | 予算特別委員会 意見表明・意見決定 |
| 18日(水) | 本会議 |
| 19日(木)・23日(月) | 常任委員会 |
| 26日(木) | 本会議（議案質疑・討論） |
| 27日(金) | 本会議（一般質問） |

外郭団体特別委員会審査から④

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が2025年11月18日と12月12日・19日にひられ、日本共産党神戸市会議員団の赤田かつのり議員と森田たき子議員が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

11月18日 建設局

神戸市道路公社

巨額な延伸事業より交通の円滑化を

——— 赤田かつのり議員

神戸市道路公社は、六甲・六甲北有料道路と西神戸有料道路（山麓バイパス）の管理運営、三宮中央通りや荒田公園、大倉山などの駐車場運営をおこなっています。赤田議員は、新神戸トンネルの延伸事業計画について、巨額な事業費を投じるより、低廉な金額で利用できる安全な道路にすべきと質しました。

答弁ダイジェスト

赤田議員：この事業費はいくらぐらいなのか。

武田副局長：少なくとも1000億以上はかかる見立てだ。

赤田議員：それだけ巨額なお金を投じる必要があるのか。

武田副局長：今後の事業の効果は確認できている。

赤田議員：現在道路の整備状況が著しく立ち後れている状況ではない。強力に道路整備を推進する必要性を感じない。むしろ公社自身が安全で低廉な料金で利用できる道路にし、交通の円滑化をはかることが必要だ。



その他の質問

● 山麓バイパスの通行台数について

公益財団法人神戸市公園緑化協会

● 王子公園の事業収入について

——— 赤田かつのり議員

● 須磨離宮公園の駐車場整備について

——— 森田たき子議員

建築住宅局

一般財団法人神戸住環境整備公社

● 市営住宅募集案内冊子の配布場所について

——— 赤田かつのり議員

● マンション管理状況の届出と情報開示の義務化と相談業務体制について

——— 森田たき子議員

12月12日 健康局

地方独立行政法人 神戸市民病院機構

患者が安心して療養できる環境づくりを

——— 森田たき子議員

地方独立行政法人神戸市民病院機構が運営をおこなっている西市民病院とアイセンター病院では、昨年6月から4床部屋を家具で仕切って1日4400円を徴収する「準個室」をつくり、一般病床を削減しました。また、中央市民病院と西神戸医療センターは今検討中だと聞いて、心配の声もあがっています。森田議員は、患者がきちんと療養できるよう経済的負担の押し付けはやめるべきと質しました。

答弁ダイジェスト

理事兼法人本部長：ニーズに合ったサービスを提供し、一定の負担をいただくことは市民の理解を得ていると思う。

森田議員：私が聞いている声とは違う。実態を把握するべきだ。準個室は入院を躊躇する事に繋がる。機構が責任を持って、患者さんがきちんと療養できるような環境を整えるべきだ。



その他の質問

● 医師の働き方改革について

——— 森田たき子議員

公立大学法人 神戸市看護大学

● 学生に対する支援について

● 教育環境の整備について

——— 森田たき子議員

● 医療事故と経常損益について

——— 赤田かつのり議員

一般財団法人 神戸在宅医療・介護推進財団

● 住宅改修助成事業について

● 認知症初期集中支援事業について

——— 赤田かつのり議員

12月19日 港湾局

株式会社神戸ウォーターフロント開発機構

地元企業を発展させる事業にすべき

——— 赤田かつのり議員

株式会社神戸ウォーターフロント開発機構は、ポートタワーの管理運営や再開発事業、新港エリアのまちづくり事業をおこなっています。機構は神戸市から委託を受けた委託費の95%相当の業務を民間企業に一括して再委託しており、契約約款で禁じられた「大部分の業務の再委託」だと判断されたことが昨年12月に新

聞報道で明らかになりました。赤田議員は「収入として市民から税金を得ているのだから、地元企業を発展させる事業をおこなうべき」と質しました。

答弁ダイジェスト

和泉港湾局副局長：一括した再委託のどの程度が大部分に当たるのかは明確な基準がない。

赤田議員：誰が見ても大部分を1社に委ねたと判断されても仕方ない問題だ。これまで再委託を受けてきた企業は東京や大阪に本社をおく企業ばかりではないか。

常務取締役：市内にウォーターフロン

トエリア、タワーや博物館のライトアップを手がけている企業がなかった。

赤田議員：ウォーターフロント再整備自体が地元企業へ仕事をつなげる対象にならないプロジェクトばかりだ。地元企業と契約をして繁栄させ、経済活性化につなげるような事業を進めるべきだ。

その他の質問

阪神国際港湾株式会社

● 港湾労働者の安全確保と神戸港の災害対策について

——— 赤田かつのり議員